

令和6年能登半島地震 港湾の復旧・復興のあゆみ

なりわい（漁業）の再建に向けた取組み

○カニ漁解禁に向けた輪島港の港湾施設の復旧

甚大な被害を受けた輪島港の早期の復旧に向け、これまで、漁船だまりにおける啓開（浚渫）作業や仮棧橋設等の設置工事を実施しました。

また、11月6日のカニ漁解禁に向け、出漁が出来るよう、輪島崎荷さばき所周辺の物揚場の仮復旧などを進め、10月までに完了させました。



○宇出津港での漁業再建に向けた取組み

宇出津港では、比較的早期に漁業が再開したものの、ふ頭用地で発生した液状化による沈下や亀裂により作業に支障が生じていました。そこで、漁業の再建を加速させるため、漁業者の意見を聞きながら、ふ頭用地の応急工事等を進めています。



生活再建に向けた取組み

○災害廃棄物の海上輸送に向けた港湾施設の復旧

地震により損壊した住宅の公費解体等に伴い、大量の災害廃棄物の発生が想定されており、この円滑な処分のため、一部を海上輸送により広域処理を行うこととしています。

そのため、解体工事の本格化に合わせ、海上輸送に向けた港湾施設の応急復旧を行い、宇出津港、飯田港では7月から、穴水港では10月から海上輸送を開始し、新潟県の姫川港、新潟港（東港）に輸送しています。11月末までに、約2万6千トン（速報値）を輸送しました。

さらに、12月には七尾港からの輸送も開始しており、引き続き、被災地の生活再建を支えていきます。

港湾施設の復旧状況



各港湾からの海上輸送の状況



出典：国土地理院HP (<https://maps.gsi.go.jp/>) の地図を活用し石川県が作成